



創立/1986年2月19日 (会長)村山 圭治 (副会長)神原 一久 (幹事)中島二三男
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 HP http://www.toshimah-rc.jp E-mail info@toshimah-rc.jp

2015~2016 年度会長方針 「今年度は30周年です。一回でも多くの奉仕活動に参加しましょう。」

第1408回例会

2016年2月3日

本日のプログラム

理事会	11:15~12:00
例会	12:30~13:30
30周年記念事業	稲川 一会員
新入会員イニシエーションスピーチ	涌井 C ゴンザレス会員

次回のプログラム

例会	12:30~13:30
30周年記念事業事前打合せ	稲川 一会員

幹事報告

1. 公共イメージ向上のため、地区公共広告のホームページ掲載のお願いがガバナー事務所よりきており、当クラブのホームページにも掲載することにしました。この2月1日より約1か月間です。
2. 2月の地区大会における表彰ですが、当クラブとしては、
 - ・100パーセント「財団の友」会員クラブ 2014-15年度（会員全員が個人的に年100ドル以上年次基金へ寄付したクラブ）
 - ・「EREY (Every Rotarian, Every Year)」クラブ（2014-2015年度）（会員全員が個人的に年次基金へいくらかの寄付をし、1人当たりの寄付額が100ドル以上のクラブ）となっております。

■ゲスト

富士ゼロックス株式会社 営業計画部 復興推進室
 みらい創り支援グループ 中川 慎一様
 富士ゼロックス東京株式会社 城北営業部
 部長 西島 考様
 富士ゼロックス東京株式会社 城北営業部
 城北第一営業所 所長 星野 巧様
 シネックスインフォテック株式会社
 丸井 道生様

■ビジター

東京練馬西RC 小林さおり様

■出席報告

会員	出席参加会員数	出席数	欠席数	出席率
33名	30名	28名	2名	93.33%

今月のソングリーダー 廣内 世英会員

2月のお祝い

【会員の誕生日】	
村中 秀朗会員	11日
【夫人の誕生日】	
吉田 恵子夫人	8日
村山 紀子夫人	11日
【結婚記念日】	
佐野 明三郎・和子ご夫妻	19日

年間100%出席表彰

26年間皆出席	齊藤 直会員
22年間皆出席	平山 衛会員
11年間皆出席	月井雅夫会員

前回の例会報告 2016年1月27日

会長報告

1. 2018-2019年度当地区ガバナー候補者が、東京葛飾東RCの松阪順一会員に決定しました。
2. 2016-2017年度の地区諮問委員会の顧問に、前川昭一会員に就任のお願いがガバナーエレクト事務所から来ております。
3. 今後の予定ですが、来月2月11日からのバギオ訪問、17日には当クラブの30周年記念例会がありますし、25日には地区大会が、そのあと5月には5クラブ合同例会や6月には日台ロータリー親善会議と各種イベントが目白押しとなっております。皆様のご協力をお願いします。

来るべき大災害に備えましょう

そのためのBCP（事業継続計画）は必須です

富士ゼロックス株式会社 復興推進室 中川 慎一



BCP（事業継続計画）とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画（中小企業庁：中小企業BCP策定運用指針より）ということになります。端的にいえば人集めです。大規模災害が発生した場合、社員がどのくらい会社に出社できるか。公共交通機関が停止し、停電も発生、道路も通行止めが続き、大きな川に架かっている橋も落橋しないまでも使用できないことが想定されます。もし、池袋に出社しないといけないうれば、荒川以東の城東地区（江戸川区・荒川区・墨田区など）に住んでいる社員はあてにならないということです。いわんや千葉県在住の社員はもっとあてになりません。また多摩川以南の神奈川県民もあてにならないということです。つまり23区と多摩地区、荒川を渡らない埼玉県民が頼りになります。後は距離の問題です。それを考慮すると1時間後に何人出社、3時間後に何人出社、半日後に何人出社という具合に具体的な参集人員が想定されます。その結果、どうしても止めてはいけない業務を、その参集人員でこなせるかどうか…これに尽きるわけです。

まずは脅威検討します。東日本大震災以降日本列島に多くの地震が起きています。現在想定されている大規模災害は、首都直下型地震、南海トラフ地震、富士山の噴火、東日本大震災の最大余震（M8クラス）が挙げられております。そのほかにも、昨今の気象状況を考えると、局地的な風水害やがけ崩

れ等も想定しておく必要があります。

また、身近の脅威としては釣り天井が挙げられます。通常のオフィスの天井は、本天井からぶら下がっているシステム天井です。これが大地震で落ちてきます。必ず落ちると言っても過言ではありません。地震だ！机の下にもぐれば正解なのです。

脅威が確認できれば、対策を検討します。対策を立てる際、徹底的に重要・必須業務を絞り込みます。それを補完するために、事業継続にとってなくてはならない、情報システムのバックアップやバイタルレコードの保管等、きちっと管理しておく必要があります。

実際に大規模災害が起こってしまった場合、自分たちの復旧・復興も大事ですが、地域の皆さんとのコミュニケーションも大切です。公開できる情報は積極的に公開し安心していただくことを心がけましょう。

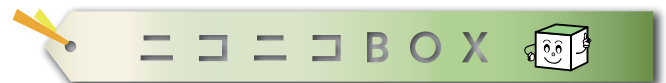
ここまで来ましたら、残されたことは教育と訓練です。実際の災害を想定した行動マニュアルを作成、それが機能するかを何回もチェックすることが重要です。

ここまでがいわゆるBCPですが、実際には準備段階（BCM）も必要になってきます。大規模災害用備蓄、オフィスの備えは大丈夫でしょうか。家庭での備えも重要です。発災直後は家族の安否確認をしなければなりません。平日頃から家族同士で連絡方法や集合場所などを決めておきましょう。

最後に、事業継続は事業継続用の特別な仕組み、システムを構築することではありません。普段使用しているものがそのまま事業継続で使える仕組み、システムを作り上げるべきです。緊急時は普段使いの組織・資機材でなければ使えません。

さあみなさん。備えあれば憂いなしです。

正しく恐れ、みんなで生き残りましょう。



加古博昭様、並木正幸様／東京豊島東ロータリークラブの皆様本日の合同例会よろしくお祈いします。

村山会員／本日は中川慎一様はじめ富士ゼロックスの皆様卓話をよろしくお祈いします。

前川会員／結婚祝御礼。

細田会員／結婚記念日、主人、悌治のたんじょう日のダブルお祝いを頂きありがとうございました。